

第5回（平成24年）定時社員総会

平成24年5月19日に学士会館にて、第5回定時社員総会が開催されました。なお、出席54社、議長委任50社、議決権総数104社でした。

《木部嘉隆副会長 開会挨拶》



昨年の総会時は大震災後の落ち着いた事情の中でしたが、その後も原発を含めたエネルギー問題や消費税等も含めた政治の混乱の中で、デフレを抜け出せずいっそう不透明感を増しております。このような経済状況下ではありますが、当協会重要事業であります人材育成事業登録トンネル基幹技能者は新たに60名の合格者を誕生させ、総数では約380名の資格者数となりました。

国交省におかれましては、登録トンネル基幹技能者の配置において総合評価点に反映されるようになってきました。登録トンネル基幹技能者も当初目標の600名に早く近づけるように、皆さんのお力を是非ともお借りしたいと思います。この事によりトンネル工事に近い将来資格者の現場配置義務化が実現すると確信をしております。

《承認された議案》

- | | |
|-------|-------------------------|
| 第一号議案 | 平成二三年度事業報告 |
| 第二号議案 | 平成二三年度収支決算報告
並びに監査報告 |
| 第三号議案 | 役員選任及び顧問委嘱 ※1 |
| 第四号議案 | 定款第四条改定 ※2 |
| 第五号議案 | 平成二四年度事業計画 |
| 第六号議案 | 平成二四年度収支予算 |

※1 役員選任及び顧問委嘱

理事常務理事	樋渡裕俊	北新建設株式会社
理事常務理事→理事副会長	石田誠一	石田土木株式会社
理事→理事常務理事	川元正和	川元建設株式会社
	横山英樹	横山工業株式会社
理事副会長→顧問	菊池二二年	北新建設株式会社
監事	土屋敏郎	藤友工業株式会社

※2 定款第四条（公告の方法）

官報掲載 → トンネル専門協ホームページ掲載

《野崎正和代表理事 挨拶》



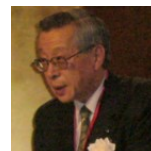
厳しい社会環境にありますが、その中で総事業費9兆円といわれるリニア中央新幹線が、平成26年に着工するとの事です。これはおおいに期待される事業です。その他では整備新幹線の北海道新幹線、北陸新幹線、長崎新幹線の着工が認められました。

以上のように、いくらか希望の光はありますが、我々の業界は今後も相変わらず厳しい事には変わりありません。

建設業界を木にと考えると、我々専門業者は根にあたります。根が弱ると木は育ちません。木を支えている我々専門工業者がしっかりと根を張るためにも、しっかりと皆さんの意見を取り入れ、その声を元請け又は発注者に陳情したいと思っております。各委員会の皆様には大変積極的に活動して頂き、厚生労働省では切羽肌落ち防止のガイドラインを出されるとのことで、少しづつですが苗が育ってきているようです。各行政の皆様には、良い肥料と土を与えて頂き、また会員の皆様には、問題を提起し知恵も汗も出すなど、協会活動に積極的に参加して頂き、皆で苗を育て、一緒においしい果実を食べることが出来たらと思っております。

《吉田忠元常務理事 閉会挨拶》

会員の皆様と共に、トンネル工事の業界発展につなげるため、確かな技術の伝承と更なるレベルアップと、魅力ある職場作りに貢献してまいります。



《感謝状贈呈》

6年間の長きにわたり副会長の重責を担い、当協会の発展向上に多大なご尽力を頂き役員を退かれ顧問に委嘱されました菊地二二年様、また、2年間監事を務めて頂き、協会運営の別の視点からご指導頂いた高 育志様に感謝状と記念品が贈呈されました。



総会懇親会来賓挨拶要旨

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課労働資材対策室長 内田欽也 様



社会保険未加入問題の対策について、新たに経営事項審査が7月1日から適用となり、又、許可の関係書類は11月1日から制度改正を行い、具体的取り組みに入っていくところでございます。進めていく上でおそらく大変なご苦労も多いかと思いますが、今後の取り組みにご理解、ご協力をお願いします。

厚生労働省労働基準局安全衛生部建設安全対策室長 中屋敷勝也 様



6月から安全週間の準備月間が開始されますが、そのスローガンといたしまして「ルールを守る安全職場、みんな目指す0災害」というスローガンにさせていただきました。ルールは法令ではありません。作業内での取り決めも含まれますので、基本を守って頂くようよろしくお願い致します。

また、肌落ち労働災害のハンドブックを拝見させて頂きました。内容的にすばらしいものだと思っておりますので、それをなんとか骨格部分を行政のガイドラインに出来ないものかと考えております。

一般財団法人建設業振興基金理事 永井仁一 様



いよいよ昨年度建設産業再生のための具体的な施策が一部開始されました。建設産業、建設業界はかつてない大変化期と言われ続け、建設業界が崖っぷちに追い詰められています。私共基金の力は微力ではありますが、業界の皆様と共に業界のために何とか役立つ事業を進めていきたいと思っております。

社団法人日本建設連合会常務執行役 谷田海孝男 様



発注者、請負者、実際働く作業員が、三位一体で労働環境を改善しており、事故を起こさないように、あるいはじん肺を出さないよう必死に取り組むつもりです。元気な日本にするために、皆さん和我々会員企業が共に手を携えて頑張り、インフラを整備したいと思っております。

秋 季 セ ミ ナ ー

9月18日にメルパルク東京で秋季セミナーが開催されました。



《野崎正和代表理事 挨拶》

先程黙祷を行って頂きましたが、今年、我々トンネル屋として大変残念な、悲しい事件が2件発生しております。一つは岡山のシールド水没事故で5名、そして新潟八箇峠のガス爆発で4名、両方の事故で亡くなられた方は9名で、その中には会員会社の社員の方も含まれ、我々の大事な仲間を亡くしてしまいました。

同じような事故は30年前にも起きており、時間の経過とともに風化させることがあってはなりません。今の時代安全第一という看板はありますが、第二、第三になっているのではないかなという様な感じを受けております。やはり安全第一で現場をやっていかなければ、若い人達も入ろうと思えませんし、その家族も心配すると思います。二度とこのような事件はあってはならないという事で私達専門協と致しましても、ガス爆発に対するプロジェクトチームを作って研究し、今後の対策を我々なりにたてていくつもりです。

また、トンネル工事で多い肌落ち事故の防止は協会の創設以来、一貫して研究しているテーマであり、今回も災害防止のハンドブックをまとめました。肌落ち対策がトンネル工事の永遠の課題にならないよう今後も改善を進めていきたいと思っております。

調 査 研 究 報 告

1. 「トンネル施工機械トラブル事例」(施工環境委員会)
2. 「肌落ち労働災害防止のハンドブックその2」(技術情報委員会)
3. 「現場宿舍生活に関するアンケート調査」(労務安全衛生委員会)

講演

「建設業における労働災害増加要因等について」

厚生労働省労働基準局安全衛生部 建設安全対策室長 中屋敷勝也 様



- ・建設業の労働災害発生状況について、特に今年に入り、死亡災害が増加している。
- ・来年から5ヶ年の計画で、第12次労働災害防止計画を策定しており、労働災害の増加要因についての分析を行った。
- ・皆様方のトンネル工事における最近の死亡災害では、基本的なルールが守られなくて死亡事故が起きたケースが多い。
- ・肌落ち労働災害の件数が多く、行政としましても防止対策について、ガイドライン化の4点についてご説明いただきました。

「山岳トンネル建設工事における肌落ち労働災害防止について」

(独) 労働安全衛生総合研究所 建設安全研究グループ研究員 工学博士 吉川直孝 様



完全に切羽を安定化させる事は困難であるため、種々の対策を併用し総合的に肌落ちによる労働災害のリスクを低減させる事が最も重要だと考えています。この中でも特に重要なのが、鏡吹付、一次吹付、あと切羽変位計測、浮石の除去等であると考えています。

「教育訓練助成金について」

(職) 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター 専務理事 菅井文明 様

キャリア形成促進助成金は、平成25年度以降も継続予定です。また、建設雇用改善助成金については廃止となりますが、新たに「建設労働者確保育成助成金」が創設されます。一部内容が変わりますが、若年者雇用対策が新たに引き上げられ、助成金が今後増えていくのではないかと考えております。



秋季セミナー懇親会ご来賓の皆様

国土交通省土地建設産業局市場整備課長 榎本健太郎 様

トンネル基幹技能者の育成と普及を図ると共に、技能労働者が技能に合った評価がなされるような、またその人の経験が見えるようなシステムの具体化に向け検討していきたいと考えております。

厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長 半田有通 様

トンネルがあるから短時間でいけるわけで、さらに新幹線もまだまだ発展していこうとしています。高速道路も整備されていく中、トンネルはわが国にとって不可欠なインフラであり、これを支えている皆さん方はほんとうに大事な仕事をされていると思います。

国土交通省政策統括官付政策評価官付政策評価企画官 勢田昌功 様

首都圏外郭の話や、新幹線延長の話、いくつか大規模プロジェクトが見直しされてきております。是非、技術を絶やさずに、しっかりした日本を将来をまた作って頂きたいと思っております。

一般財団法人建設業振興基金構造改善センター研究部長 枝川真弓 様

昨年一緒にトンネル工事現場の見学会に参加させて頂きまして、非常にダイナミックで整然とした現場で感銘をうけました。安全や災害の防止という事に業界を上げて取り組んでおられ、非常に感動しております。

建設業労働災害防止協会事務局長 伊藤正人 様

自然災害が発生するたびに災害に備える、あるいは復旧・復興をはかるという事において、いかに建設産業が社会的にも重要な役割を果たしているかということを実感しております。



来賓挨拶の後、全国から参集された会員の皆様は、来賓の皆様との名刺交換や、歓談して頂くなど、大変有意義な時間を持たれました。

平成24年度優秀施工者国土交通大臣顕彰

建設事業の第一線にあって業務に精励し、常に技術・技能の向上に努め、他の模範となる者としてトンネル専門協より国土交通大臣に推薦された下記2名が、建設マスター審査委員会により今年度の受章者362名のうち選ばれました。10月18日にメルパルクホールにて顕彰式典が開催されました。

舩友 信一(成豊建設株) 森 浩樹(木部建設株)



平成24年度第1回NEXCO3社との意見交換会

3協会(日本機械土工協会、トンネル専門協、PC工事業協会)とNEXCO(7月19日に中日本、7月29日に西日本、9月27日に東日本)との意見交換会が行われました。意見交換会は昨年度に続いて、今回が2回目となります。3協会では現場の最前線で働く専門工事業者の人材が確保できなくなることに強い危機感をもっており、意見交換ではこのような厳しい実態を説明し理解を求め、次の要望事項を提示させて頂き、一定の理解を示して頂きました。

《要望6項目》

- ・割掛け工事費の内訳明示
- ・工期が延長した場合の直接工事の作業効率見直し
- ・優秀技能者の適正評価(登録基幹技能者の総合評価方式での評価・活用)
- ・労務単価の引上げ(行き過ぎた競争による技能労働者へのしわ寄せなどに対する指導)
- ・山岳トンネルにおける換気設備の設計方法等
- ・低入札価格調査基準価格の引き上げ

平成24年度第1回登録トンネル基幹技能者講習

7月17日～20日に東日本会場(千葉県佐倉市)にて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。15名の受講者は7月30日に行われた基幹技能者育成委員会(外部委員2名を含む)による審査の結果、全員の修了が承認されました。



修了証番号	所属組織名	氏名
第12070380	川元建設株	古滝 司
第12070381	木部建設株	木村 光一
第12070382	佐々木建設株	上野 智之
第12070383	笹島建設株	成田 忠久
第12070384	笹島建設株	笹島 昭人
第12070385	笹島建設株	鈴木 憲
第12070386	笹島建設株	柳平 文夫
第12070387	株ジオダイナミック	大貫 武志

修了証番号	所属組織名	氏名
第12070388	株すばる建設	工藤 弘樹
第12070389	株すばる建設	三治 聖和
第12070390	成豊建設株	嵯峨 雄太
第12070391	成豊建設株	山谷 信広
第12070392	成豊建設株	野田 和則
第12070393	横山工業株	中野 浩満
第12070394	横山工業株	三浦 一

新規入会(平成24年4月～)

- 入会 柴田運送株 代表取締役社長 柴田征治(一般区域貨物運送事業)
- 三和エナジー株 代表取締役社長 上野瑞穂(石油類販売)
- 株三井三池製作所 代表取締役社長 平川幸知(運搬機械等製作)



事務局便り

- NTS会報28号をお届けします。今回は5月の定時社員総会、7月の第1回登録トンネル基幹技能者講習会、7月・9月のネクスコ3社との意見交換会、9月の秋季セミナー、10月の優秀施工者国土交通大臣顕彰を取り上げ、記事といたしました。
- 行事予定
 - ・登録トンネル基幹技能者講習(西日本会場) 平成24年11月13日(火)～11月16日(金)
 - ・登録トンネル基幹技能者講習(東日本会場) 平成25年 2月12日(火)～ 2月15日(金)
 - ・新春セミナー・賀詞交歓会(メルパルク) 平成25年 1月30日(水)

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors
日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL: <http://www.tonnel.jp>